

将来への種まき積極的に

身の丈に合った 財政運営図る

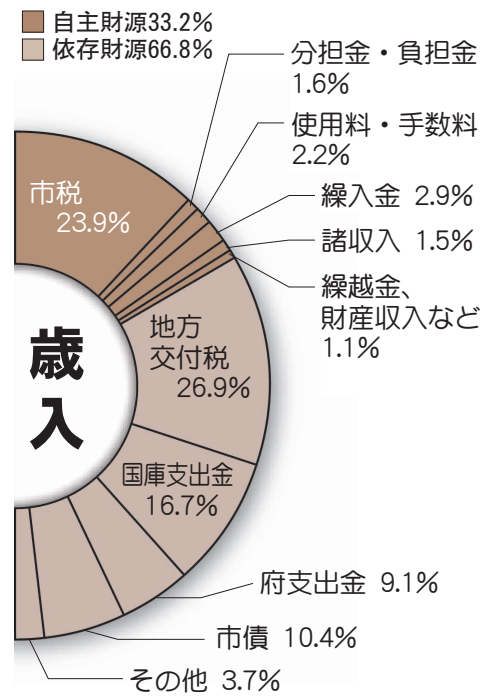
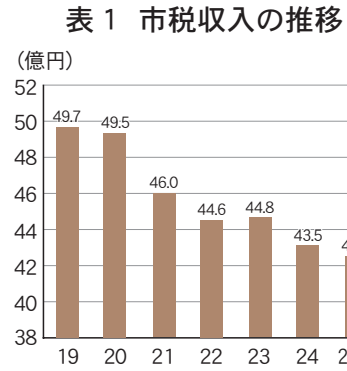
市の平成25年度各会計別決算案が9月定例市議会にて認定されました。一般会計は、歳入179億3351万円、歳出177億7701万円。翌年度に繰り越す財源7303万円を差し引いた実質収支は8347万円となり、42年連続で黒字を確保しました。

経済対策活用し財源確保

一般会計の歳出は、公共施設の耐震化や最終処分場の整備に伴う費用などで、前年度比2億9688万円（1・7割）増額となりました。自主財

財源の要である市税収入

11は、法人市民税や固定資産税の減などで前年度に比べて6089万円（1・4割）の減額。一方で、国の経済対



歳入 179億3351万円

特別会計も黒字または収支0。特別会計10会計は、歳入総額118億9534万円、歳出総額117億9162万円でした。実質収支は、5028万円の黒字。10会計すべてで黒字決算または収支ゼロとなりました。2公営企業会計も、当年度純利益を確保し、Rや観光パンフレットの作成などで綾部の魅力を発信。定住促進、婚活支援、水源の里活性化、いきいき地域づくり事業費補助金など定住・交流促進による地域活性化にも重点的に取り組みました。

先を見据え基金増額

市の貯金（基金）残高は前年度比6億1544万円増の63億9667万円とし、将来を見据え安定的に確保。借金（市債）の残高は、前年度から2億5280万円増え136億1177万円となりました。だが、財政構造の弾力性を示す経常収支比率は88・2割で、前年度と比べて4・2割改善しました。財政の健全性を判断する指標も、基準値を下回り安全圏内となっています。

歳出 177億7701万円の主な使い道

総務費(17.7%)

地域活性化の支援などに31億5167万円
庁舎耐震改修=写真①▽情報発信拡充▽梅迫駅周辺整備▽定住サポート事業▽婚活支援

議会費(1.1%)

議会の運営に1億8636万円

民生費(27.9%)

福祉・医療に49億6566万円
重度障害者への訪問指導員の派遣▽Uターン介護職員などへの家賃助成▽すこやか子ども医療費▽介護福祉施設整備に助成▽人権フェスタ、人権標語コンクールの開催=写真②

衛生費(15.5%)

環境整備・健康づくりに27億5837万円
最終処分場整備▽子宮頸がん予防ワクチン接種▽食育・すこやかフェスティバル開催=写真③

労働費(0.8%)

雇用対策に1億3126万円
あやべ就職応援フェアを開催=写真④▽就職情報等提供

農林水産業費(4.8%)

農林業の振興に8億5281万円
森林マスタープラン策定▽農業用機械の導入に支援▽野生鳥獣被害総合対策▽梅林公園観梅会の開催=写真⑤

商工費(1.4%)

商工業・観光振興に2億5054万円
あやべグンゼスクエアの整備=写真⑥▽あやべ温泉の改修=写真⑦▽あやべ山の家耐震改修▽商店街の施設設置に補助▽中小企業の生産設備リース導入支援

土木費(7.1%)

道路、公園などの整備に12億6176万円

都市計画道路見直し▽青野豊里線など道路整備▽橋りょう長寿命化修繕計画策定▽綾部駅バリアフリー化=写真⑧▽紫水ヶ丘公園整備=写真⑨

災害復旧費(1.2%)

災害による被害の復旧に2億297万円
農林・公共土木施設の災害復旧=写真⑩

公債費(9.8%)

借入金の返済に17億4805万円

教育費(9.3%)

学校や幼稚園、生涯学習に16億5892万円

上林小学校・中学校改築▽河北中学校体育館改築=写真⑪▽綾部の伝説・民話紙芝居制作▽スクールバス整備▽総合運動公園バスケットゴール整備

消防費(3.4%)

消防・防災に6億864万円
全国女性消防操法大会出場=写真⑫▽消防車両整備▽消防救急デジタル無線施設整備

表2 会計別の平成25年度決算

区分	歳入総額	歳出総額
一般会計	179億3351万円	177億7701万円
特別会計	市立診療所等	3835万円
	農林業者労働災害共済	441万円
	国民健康保険	39億3743万円
	介護保険	42億7318万円
	後期高齢者医療	5億1597万円
	駐車場	2482万円
	簡易水道	7億3315万円
	下水道事業	13億9305万円
区	地域排水事業	8億5351万円
	住宅・工業団地事業	1億2148万円
	事業収益	事業費用
公営企業会計	上水道事業	7億2289万円
	病院事業	58億7721万円

※文中・表中ともに1万円未満四捨五入



私市円山古墳まつり

私市円山古墳を守る会が11月3日に同公園で古墳まつりを開催しました。古墳は8月の大雨による被害で入場を一部制限していますが、会場は地元自治会や商工繁栄会などによる模擬店が品切れになるほど盛況。ステージでは地元の太鼓、踊り、バンドなどが行われ会場を盛り上げました。

綾部の魅力も体感

綾部の魅力を体感してもらおうと、市の企画で「ふるさとあやべ訪問バスツアー」を10月25日に開催。今年度2回目となるツアーは、関西圏からあやべ特別市民とその家族など28人が参加しました。私市円山古墳公園から市内を一望したあと、黒谷和紙工芸の里で紙すきを体験。

新名所あやべグンゼスクエアも訪れ、秋の1日を満喫するツアーとなりました。



卒業証書を手すきの和紙で



市内の小学校6年生は、自分が受け取る卒業証書を黒谷和紙で作っています。本年度の取り組みは10月24日、東綾小学校からスタート。児童23人が、十倉名畑町の黒谷和紙工芸の里で和紙職人の指導を受けて紙すきに挑戦しました。今後、12月まで順次行われる予定です。

色鮮やかに 菊花展開催



市シルバー人材センターと市菊花会は11月1日から6日まで、青野町のあやべ特産館前広場で「第21回綾部市菊花展」を開催しました。今年は27人2団体が、丹精込めて育てた大菊や盆栽菊など456鉢を出展。期間中、延べ約3050人が訪れ、色鮮やかに咲き誇る菊花を楽しみました。

田辺市で全国水源の里シンポ



全国水源の里シンポジウム（同実行委主催）が10月23、24日、和歌山県田辺市で開催され、全国から約450人が来場しました。綾部市からは山崎市長をはじめ、水源の里地域の住民など計53人が参加。自然豊かな水源の里を守るための方策を話し合いました。また会場では、全国水源の里フォトコンテストの表彰式も行われ、523点の応募作品から私市町の芦田千賀子さんの作品が農林水産大臣賞に輝きました。

みんなの笑顔が見たい！ あやバス上林線

クリスマスバス運行

クリスマスシーズンに合わせ、今年も上林線でクリスマスバスを運行。12月23日にはサンタクロースとまゆピーもやってきます。

上林線でイベント実施
あやバス利用促進の一環として、昨年から行っている「クリスマスバス」。今年は12月8日から25日まで、綾東幼稚園の園児が作った装飾品を飾り付けたバス（車両番号10・00）が上林線を走りまわります。

まゆピーグッズもプレゼント
今年のサンタクロース乗車便には、118人が乗車。サンタクロースがプレゼントを配ったこともあり、多くの親子連れでにぎわいました。今年も12月23日にサンタクロースが乗り込み、乗客にハンドタオルをプレゼント。今回は、大町バスターミナルまで乗車していただいたお子さんに、まゆピーストラップ（先着40人）もプレゼントします。大町バスターミナル横のいきいきセンターではクリスマスツリーと共に、まゆピーがお出迎え。サンタクロースやまゆピーと写真撮影ができます。この機会にぜひご乗車ください。詳しくは市民協働課 管内線266へ。

ハンドタオル
まゆピーストラップ

サンタクロース乗車バス 運行時間
市立病院前 ①9時45分発 ②11時45分発 ③13時45分発

◆ 最優秀作品 ◆

子どもたちに、あやバスへの関心を高めてもらおうと、平成22年度から開催している絵画展。5回目の今回は、過去最多の208点（高学年の部18点、低学年の部190点）の応募がありました。入賞作品は「移動絵画展」として、12月末まで上林線の車両（車両番号29・20）に展示しています。入賞者は次の皆さんです。（敬称略）

低学年の部	高学年の部
最優秀賞 大槻 心咲（中筋小3年） 優秀賞 足立 知（豊里小2年） 秋田 京香（吉美小3年）	最優秀賞 由良 飛翔（吉美小4年） 優秀賞 森 碧依（東綾小5年） 佳作 余田 綾乃（東綾小4年） 安喰 楓人（志賀小6年） 桃太郎賞 福井 敬人（吉美小4年）

低学年の部
 原田 悠希（綾部小1年）
 終本 結香（中筋小3年）
 藤田 結万（中筋小3年）
 大西 元（東八田小2年）
 錦織まり乃（西八田小1年）
 吉田 迅（西八田小2年）
 由良 愛菜（吉美小2年）
 桃太郎賞
松本 杏奈（中筋小3年）
 余田 知也（東綾小2年）